（様式第１）

**発生源自動監視システムに係る調査表届出書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

届出者

（氏名又は名称及び住所並びに

法人にあってはその代表者の氏名）

川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱第８第１項の規定により、次のとおり届け出します。

１　工場又は事業場

の　　名　　称

２　工場又は事業場

の　所　在　地

３　調査表の具体的　　　別紙１から別紙４のとおり。

な　　内　　容

備考　１　届出書及び別紙の用紙の大きさは、原則として日本産業規格Ａ４とする。

　　　２　調査表において小数点のある数値は、特に定めのない限り四捨五入により

　　　　小数点以下３桁で表示すること。

（様式第２）

**発生源自動監視システムに係る調査表変更届出書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

届出者

（氏名又は名称及び住所並びに

法人にあってはその代表者の氏名）

川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱第８第２項の規定により、次のとおり届け出します。

１　工場又は事業場

の　　名　　称

２　工場又は事業場

の　所　在　地

３　変　更　概　要

４　変　更　期　日

５　調査表の具体的　　　別紙１から別紙４のとおり。

な　　内　　容

備考　１　届出書及び別紙の用紙の大きさは、原則として日本産業規格Ａ４とする。

　　　２　調査表において小数点のある数値は、特に定めのない限り四捨五入により

　　　　小数点以下３桁で表示すること。

　　　３　定数の変更については、その根拠となった資料も添付すること。

（様式第３）

**発生源自動監視システムに係るテレメータデータ修正届出書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

届出者

（氏名又は名称及び住所並びに

法人にあってはその代表者の氏名）

川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱第９の規定により、次のとおり届け出します。

１　工場又は事業場

の　　名　　称

２　工場又は事業場

の　所　在　地

３　修　正　理　由

及　び　日　時

４　修正デ－タ及び

そ　の　根　拠

備考　届出書の用紙の大きさは、原則として日本産業規格Ａ４とする。

（様式第４）

**発生源自動監視システムに係る実績報告書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

工場又は事業場

の　　名　　称

|  |  |
| --- | --- |
| 担当部署 |  |
| 記載担当者 |  |

川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱第10の規定により、次のとおり報告します。

ばい煙発生施設停止実績報告書（　　年　　月分）

備考　届出書の用紙の大きさは、原則として日本産業規格Ａ４とする。

（様式第５）

**発生源自動監視システムに係るデ－タチェック報告書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

工場又は事業場

の　　名　　称

|  |  |
| --- | --- |
| 担当部署 |  |
| 記載担当者 |  |

川崎市発生源自動監視システムの計測器等の保守管理に関する要綱第10の規定により、次のとおり報告します。

データチェック報告書（　　年　　月分）

備考　届出書の用紙の大きさは、原則として日本産業規格Ａ４とする。

（様式第６）

**発生源自動監視システムに係るテレメータデータ修正報告書**

年　　月　　日

（あて先）川　崎　市　長

届出者

（氏名又は名称及び住所並びに

法人にあってはその代表者の氏名）

令和　　年度の発生源自動監視システムに係るテレメータデータ修正届出書の提出について、次のとおり報告します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 報告月日 | ファイル名 | 備考 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

添付書類 ４月から３月までの発生源自動監視システムに係るテレメータデータ修正届出書（様式第３）

（別紙１）

**設 置 計 測 器 の 概 要**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　目番　号 | 計測器の名称 | メーカー型　　式測定方法 | 出力信号 | 流量計通過時の重油温度及び温度補正係数（15℃） | 備　　考 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

備考　小数点のある数値は、四捨五入により小数点以下４桁で表示する。

（別紙２）

**燃料系統図及び計測器設置状況図**

●　液体流量計　　□　ＮＯx計

〇　ガス流量計　　△　Ｏ２計

◇　電　力　計　　□　ＳＯ２計

◆　 分子量計 　　■　Ｓ分析計

（別紙３）

**使用燃料種類別分析値**

１　液体又は固体燃料

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 使用燃料 項　　目 |  |  |  |  |  |
| 炭　素　分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| 水　素　分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| 窒　素　分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| 硫　黄　分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| 酸　素　分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| そ の 他 分 (wt%) |  |  |  |  |  |
| 比　重 (15℃/4℃) |  |  |  |  |  |
| 総発熱量(kJ/kg) |  |  |  |  |  |

２　気体燃料

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　使用燃料 　項　　目 |  |  |  |  |  |
| 成　　分 (vol%)（Ｃn Ｈm etc） |  |  |  |  |  |
| 硫黄分(volppm) |  |  |  |  |  |
| 分　　子　　量 |  |  |  |  |  |
| 総発熱量(kJ/m3N) |  |  |  |  |  |

（別紙４）

**ＮＯｘ排出量の算定に係る施設の状況**

１　ＮＯｘ計を設置している施設又はＮＯｘ濃度が代表できる施設の状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設の名　称 | 使　用燃　料 | 流量計項　目番　号 | 理論空気量(Ａ0)（m3N/kg、m3N） | 理論乾き排出ガス量(Ｇ0)(m3N/kg、m3N) | 分子量と発熱量との関　係　式（kJ/m3N） | NOx計項目番号 | O2計項目番号 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |

　備考　分子量計を設置している場合は、発熱量だけでなく、Ａ0 及びＧ0 について

　　　もその関係式を記入する。単位排出ガス量を算定に使用する場合は、その数値

　　　も別記する。

２　ＮＯｘ計を設置していない施設の状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設の名称 | 使用燃料 | 流量計項目番号 | NOx排出量(Y)と使用熱量(X)との関係式（Ｙ ＝ ａＸ ＋ ｂ）（Ｙ：m3N/h、Ｘ：106kJ/h） |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

備考　１　電気の発熱量は、3600kJ/kWhとする。

備考　２　都市ガスの発熱量は、45000kJ/m3Nとする。